

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：令和6年 3 月 31 日

事業所名：よつばハーモニー 大池

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	国の指定基準を満たしたスペースの確保をし、活動スペースとして提供させていただいています。	はい 16 いいえ 0 どちらともいえない 2 わからない 0	お外で遊ばせてくれるので暖かくなったらたくさん行けたらと思います。
	2 職員の適切な配置	国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置しております。	はい 17 いいえ 0 どちらともいえない 0 わからない 1	今後も現状維持を継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内はバリアフリー化されており、過ごしやすい環境を整えております。	はい17 いいえ 0 どちらともいえない 1 わからない 0	今後も現状維持を継続していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	お子さんが活動できる部屋は十分スペースもあり個別性、安全面、清潔面等お子さんには過ごしやすい環境を提供させて頂いております。	はい 17 いいえ 0 どちらともいえない 1 わからない 0	見学をさせていただいた際、とても広々とした空間で、子供達が楽しく過ごせるような場所だった為安心して通わせる事が出来ます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	今後もスタッフ間で連携を深め、日々の支援の振り返りとともに、「PDCAP」への参画を行なっていきます。		引き続き、全スタッフが意見を述べやすい環境を整え、積極的な参画を目指す
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在第三者による外部評価を受けておりません。今後第三者外部評価を受けたいと予定しております。		今後の検討課題とする
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員各自が研修会や勉強会に参加し、資質向上を目指しており事業所からの外部の研修に参加しております。		今後も引き続き、スタッフ全員の自己研鑽の場を確保していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントシートを用いて子どもや保護者のニーズに沿った計画を作成させていただいております。	はい 18 いいえ 0 どちらともいえない 0 わからない 0	今後も現状維持を継続していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一部の児童はアセスメントツールを活用しているが、残りは家族の希望に沿った支援をするようにしております。	はい 18 いいえ どちらともいえない 0 わからない 0	今後も現状維持を継続していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの出席の状況を見ながら、個別活動・集団活動を適宜組み合わせ、デイサービス計画を作成しております。	はい 18 どちらともいえない 0	現状維持を継続しつつ、具体的な支援内容について、明確に記載していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	サービス計画に則り個別活動、集団活動を適宜組み合わせ支援を行っています。	はい 18 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	現状維持を基本としつつ、利用者の変化に迅速に柔軟に対応していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月1回スタッフ会議を行い1か月のプログラムを立案していただき、子どもたちが楽しく過ごす支援ができるかを発言していただいております。	はい 17 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0	活動内容が色々で子供が楽しめる工夫がされていると思います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、長期休暇に応じてプログラムを組み替え、細やかな対応を心掛けています。スケジュールの苦手な子ども達は、穏やかな変化をつけたスケジュールにし、徐々に変化に慣れてもらえる対応をしています。		利用者の状況に応じて、臨機応変に対応可能な受け入れ体制を今後も構築していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	随時利用者の状況に応じて、プログラムの見直しを行っています。	はい 17 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0	現状維持を継続しつつ、研修なども行い、新しい取り組みも導入していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日行われる支援内容や役割分担について、それぞれが支援開始前に確認を行っていますが、不十分であるようなので、今後も全職員で打ち合わせを行ない、確認を行っていきます。		今後も現状維持を継続していく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後にそれぞれ職員間で、その日の支援の振り返りを行うと共に気づいた点を話し合っています。今後も、全職員で、その日の支援の振り返りと共に気づいた点を話し合い、より良い支援へと繋げていきます。		今後も現状維持を継続していく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々ケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げています。今後も日々のケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げ、より良い支援を目指します。		今後も現状維持を継続していく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月ごとにモニタリング・アセスメントを行い、計画の見直しを行っています。		今後も現状維持を継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現在サービス担当者会議はありません。今後開催があれば児童発達支援管理責任者が会議に参加します。		今後、必要に応じ、また要請があれば、それを受けて協力体制をとっていく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在、医療的ケアの専門スタッフの配置はなく、医療的ケアが必要な子どもさんのご利用はありません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	開設と同時に協力医療機関との協定書を交わしております。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在利用している子どもたち全員は小学校である為、支援級の先生との情報共有をしています。		今後の検討課題とする
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在卒業生がいない為、交流がありません。卒業生が出れば支援内容の情報提供をしていきます。		今後の検討課題とする
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	関係機関と連携を深め、会議、研修等に積極的に参加しています。		専門機関での研修受講を進めていきたい
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	近隣の公園や夏まつりなどで、参加することにより、障がいのない子どもたちと交流活動をする機会を設けています。	はい 6 どちらともいえない 3 いいえ 9 わからない 0	今後も現状維持を継続していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に関われた事業の運営	地域の行事などまだ参加はありませんが、案内があれば積極的に参加をして、事業所の案内を随時行っていきます。		今後の検討課題とする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に運営規定・支援内容・利用者負担等について丁寧に説明を行っています。	はい 14 いいえ 0	どちらともいえない 3 わからない 1	今後も、引き続き、納得の得られる分かりやすい説明を心掛けていく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	ご利用前にご家族様に支援内容を作成して丁寧に説明して納得がいかれましたら署名捺印をいただいております。	はい 18 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 0	今後も、引き続き、納得の得られる分かりやすい説明を心掛けていく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	開設もまだ浅く現在は行ってはいませんが、特別支援教育士等の先生を招き、家族勉強会・座談会を実施していきたいと思っております。	はい 10 いいえ 0	どちらともいえない 2 わからない 6	特に希望していない為
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	家族様との情報交換を密にし、共通理解を持てるように心がけています。	はい 17 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 1	送迎の際にこまめにお話をさせていただきますので、子供の日頃の様子がわかります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時、家族様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、助言と支援を行っています。	はい 16 いいえ 0	どちらともいえない 1 わからない 1	毎日の連絡帳での情報とてもうれしいです。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会や、保護者会は1回開催しました。家族座談会やファミリーミーティングなどの機会を設けて家族が参加しやすい工夫を今後行っていきたいと思っております。	はい 5 いいえ 5	どちらともいえない 3 わからない 5	コロナで出来ない時期があり、何か交流が出来たらいいですね。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	子どもや家族様からの苦情申し入れに対し、連絡帳を設けており、適切な対応を心がけています。今後も苦情に対して、迅速で適切な対応をしていきます。	はい 14 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 4	保護者のご要望に応じて定期的な面談以外にも個別面談の機会を作っていく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者・家族様ともに意思疎通・情報交換の為に細心の配慮を心がけています	はい 17 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 1	定期的にあげていただくインスタグラムをととても楽しみにしています。連絡帳にも写真をたくさん貼って頂けるので日頃の様子もよくわかります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	連絡手帳や今月の行事、外出のお知らせは随時発信させていただいています。	はい 17 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 1	今後も現状維持を継続していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いには十分注意をしています。	はい 16 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 2	今後も現状維持を継続していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定して職員間で共有しています。家族様にもお伝えしています。事業所で感染症が発生した際には、電話や連絡手帳等にて周知させていただきます。	はい 14 いいえ 0	どちらともいえない 1 わからない 3	今後、周知の徹底に努力していく
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災訓練は年2回しているのですがその他必要な訓練は毎月1回、避難訓練を行っていきたく思っております。	はい 15 いいえ 0	どちらともいえない 0 わからない 3	消防訓練など子供が実際消火器を使って練習するのは、なかなかないのでいい経験になったと思います
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する研修会をスタッフ全員定期的に開催し、適切な対応を心がけています	/		今後も引き続き、職員研修を継続していく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時には必ず、「利用児童又はその他の利用児童の生命又は身体を保護する為緊急やむを得ない場合を除き、行わない」という説明をさせていただいています。了解を得たうえで計画書の記載を入れていきます。	/		今後、身体拘束の必要性が生じた場合には、全職員で検討する
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントでご家族から聴取しており、おやつなどでアレルギーに対する配慮をしています	/		今後も、医師の指示どおりの対応を徹底していく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった場合は、ヒヤリハットインシデントに載せ、事例集を含め月1回スタッフ間で改善についての検証を行い共有します。	/		書面でのヒヤリハットの作成と、全スタッフで共有するための話し合いを行っていく

